

協調サーチエンジン

研究
概要

新鮮な情報の検索に適した分散型サーチエンジン



総合情報学部 総合情報学科

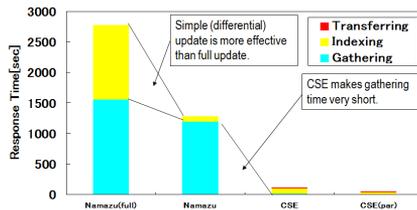
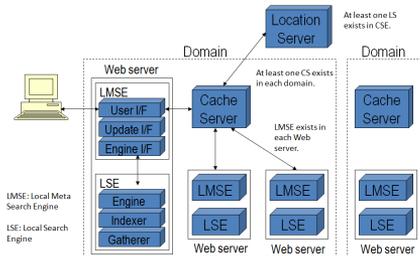
上原 稔 教授 Minoru Uehara

研究キーワード: 情報検索

URL: <http://www2.toyo.ac.jp/~uehara>

研究シリーズの内容

Google に代表される集中型サーチエンジンは多数のサイトからページを収集するために非常に長い時間がかかります。一説には2週間以上かかるといわれています。つまり、作成したページが検索できるようになるまで2週間以上待たなければならないということです。一方、分散型サーチエンジンは原則として収集を必要としません。それぞれのサイトに組み込んだ小型サーチエンジンが新しいホームページを即時に検索可能にします。そのため分散型サーチエンジンは集中型サーチエンジンより新鮮な情報の検索に適しているといえます。しかし、分散型サーチエンジンには検索が遅いという問題点がありました。なぜなら、分散型サーチエンジンでは、小型サーチエンジンは1つのサイト内しか検索できないため、複数の小型サーチエンジンを連携し、検索結果をまとめる必要があるからです。複数の検索結果をまとめるという意味ではメタサーチエンジンも一種の分散型サーチエンジンです。メタサーチエンジンでは複数のサーチエンジンで同じ検索を行い、結果をまとめて表示します。協調サーチエンジン(Cooperative Search Engine, CSE)は、適切なサイト選択を行うことで検索の遅さを克服した分散型サーチエンジンです。協調サーチエンジンでは、各サイトのメタ知識を収集し、それに基づいてサイト選択を行います。メタ知識は十分小さいため、サイト全体の文書を収集するよりわずかな時間で収集可能です。



活用例・産業界へのアピールポイント

- ① 自社サイトの迅速な情報発信
- ② 自社の研究、開発、営業等の知識発掘

特記事項(関連する発表論文・特許名称・出願番号等)

- ① 佐藤永欣, 上原稔, 酒井義文, 森秀樹: “最新情報の検索のための分散型サーチエンジン”, 情報処理学会論文誌, 第43巻, 第2号, pp.321-331, 情報処理学会, (2002.2)